

【飯山市】校務DX計画

2025年3月

		令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度
共通項目	FAX・押印の原則廃止に取り組んだ学校の割合	0%	50%	100%	100%	100%
	不合理な手入力作業の一掃に取り組んだ学校の割合	0%	30%	60%	100%	100%
	クラウド環境を活用した校務DXの徹底に取り組んだ学校の割合	0%	50%	100%	100%	100%
選択項目	3.学校から保護者へ発信するお便り・配布物等をクラウドサービスを用いて一斉配信している学校の割合	0%	60%	100%	100%	100%
	9.1人1台端末を児童生徒に持ち帰らせ、家庭で利用できるようにしている学校の割合	50%	75%	100%	100%	100%
	16.職員会議等の資料をクラウド上で共有しペーパーレス化している学校の割合	0%	50%	80%	100%	100%
課題と解決策の具体	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題	教育委員会には、DX推進に必要な知識を持った職員がいないことと、実現に向けた費用が確保できないことが課題。補助等活用しても自主財源を確保する必要がある。第1期から第2期にかけてのGIGAスクールの環境整備だけでも、相当の負担増となっており、DXに確保する予算の優先順位が低くなってしまう。教員は、一定期間の赴任となり、忙しい校務の中で、学校が率先してDXについて検討していく体制が取れない。				
	教育委員会及び学校が教育DXを推進する際に取り組むことが望ましい項目を実現する上で障害となる課題の解決策	学習者用端末のOSを令和7年度から変更するにあたり、徹底的に学校の意見を聴取し取り入れた。教員がより活用しやすい環境となるため、研修等によりクラウド活用による業務効率化やペーパーレス化の早期実現を図る。				
	校務系ネットワーク・システム等の現状分析や、望ましい校務の在り方に関する検討の計画	校務系ネットワークは現在、センター方式を採用しており、そのことが速度低減の原因となっている部分がある。令和9年度には、オンプレミス方式の現在のセンターサーバー更改時期が迫っており、クラウドを活用を含めた望ましい校務ネットワーク構成を検討する。				